

21世紀を切り拓く心豊かでたくましく、やさしい、夢のあるひと育ちの茅野市教育（茅野市教育大綱）

縄文のピーナスプラン1 ～みんなが縄文のピーナスのように輝くことを願って～

「みんな同じ」から一人ひとりの多様性と力を伸ばすことを目的とした教育に転換し、創造します。一人ひとりの個性を光らせます。

縄文のピーナスプラン2 ～心おどる学びの体験～（北部中学校区）

自らの願いをもとに「なぜ？」を追及し続ける子ども

（小中一貫教育）

自分の気持ちをはっきりと伝えられる子ども 話や活動に集中・熱中できる子ども（幼保小連携）

＜学校長の願い＞

- 子どもが楽しいと感じる学校づくり。
- 子どものよさの伸長と、認め合い・支え合い（協働）の学校づくり。
- 子どもに生きる力を育むための教師の力量向上。
- 地域に開かれ、地域に信頼され、地域と共にすすめる学校づくり。

授業改善
学級経営
子どものとらえ

学校教育目標

「よく考えて めあてをもってひとり歩きのできる子ども」
・こだわろう・ふんばろう・いたわりあおう・ひびきあおう

＜保護者・地域の願い＞

- 豊かな自然や文化など、豊平を愛する子どもの育成
- 思いやりの気持ちを持ち、進んであいさつする子どもの育成

令和7年度 重点目標

- (1) 図書館教育・読書活動の充実
- (2) 豊かな体験からの学び（豊平塾）
コミュニティ・スクールの一層の推進
- (3) いじめ対策・不登校対応
- (4) 「生き方教育」の推進
- (5) 幼保小中の学びの連続性

＜子どもの特徴＞

- 明るく、素直で、のびのびしている。
- 「創る」ことを楽しめる。
- 自分の思いや考えを伝えたり表現したりするのが苦手。

めざす子どもの姿（「Let's Try！」）

- 【こだわろう】：自分のいいところを見つけ、とことんよさを伸ばしていく子ども
- 【ふんばろう】：いいと思ったこと、やろうと思ったことを最後までやり抜くたくましい子ども
- 【いたわりあおう】：困ったときには助けを求め、友のよさを見つけることができる心優しい子ども
- 【ひびきあおう】：周りの人たちと認め合い、支え合いのできる子ども

図書館教育・読書活動の充実

- 多くの本に触れ「ことばとところを育てる読書活動」の充実。
- 朝の10分間読書の例外なき継続。
- 一人ひとりの興味関心からスタートし、自分の学びを大切に「調べる学習」。
- 目的に応じて情報を選び、課題解決を図ることができる情報活用能力の育成。
- 学習情報センターとしての学校図書館の機能を生かした学び方指導の充実。個人の興味関心に対して適切に助言できる司書教諭を中心とした指導体制づくり。

いじめ対策・不登校対応

- 相談週間を年3回とり、子どもたちが職員と話しやすい環境づくりをすすめる。
- 「子どもと向き合う時間」を確保し、子どもの話に耳を傾ける。
- いじめ見逃し0の学校・学級づくり。
- 「子どもの学びたい・考えたいという意識を位置づけた授業」と「人間関係づくり」が相互に関わり合う中での不登校への支援。**所属感と居場所（ミニサポートルーム等）の獲得。**
- 「こども家庭センター」との連携を大切に行う。

「生き方教育」の推進

- 全校でいいところ見つけの活動を行う。
- 頑張った自分の姿を振り返り、次への目標や課題を見いだす「キャリアパスポート」の蓄積。
- 自分達の生活をよりよいものにしていく児童会活動。
- 成就感→自己有用感→自己肯定感の高まり。

ことばとところの育ち

自己肯定感の高まり

自分の人生・自分たちが生きていくまち・未来をえがく

ふるさと豊平大好き

幼保小連携・小中一貫教育

豊かな体験からの学び（豊平塾）

豊平コミュニティ・スクールの一層の推進

- 体験的な活動にたっぷり浸らせ、問題解決的な学習・教科横断的な活動の広がりをもてるような学習として、子ども自らの学びを保障する。
- 学校運営協議会、コミュニティ・スクール等との授業づくり（豊平塾）、豊平地区コミュニティセンターとの連携（避難所体験、文化祭、夏まつり、見守り活動など）。
- 縄文の心を知り、現代社会のあり方を考える「縄文市民科学習」を位置づけ、地域に学ぶ時間とする。（「自立」「協働」「創造」）
- 生活・総合的な学習や畑・田んぼづくり、クラブなどに外部講師（「ひと」）を活用。
- 個別最適な学びと協働的な学びを目指しICTの利活用を積極的に進める。
- 子ども主体の授業を創造。学習問題・学習課題を据え、子ども自らが課題解決に向かう。
- 学校外でも、公共施設主催の学びや国際化に向けた英語の基礎を培うなど、市内を子どもたちの学びの場に。

幼保小中の学びの連続性

- スタートカリキュラム、保育園との交流（豊平・中大塩保育園）、中学校区での交流教育を進め、縦・横のつながりの中でよりよい人間関係づくりを行う。
- 架け橋シートを使い、学びの連続性を意識した活動を行う。
- 中学校区での授業公開から学び合い、授業観・児童生徒観の意思統一を図りながら、小中一貫教育を推進する。

豊かな自然文化の中で、たくましく、粘り強く、共に考え、未来（地域）を担う子どもの育成（北部中学校区）